



五稜会病院の正面です。平成28年2月末、雪はまだ残っていて春はまだ遠いですが、着実にやってきます。春は受験、卒業、そして新たな出発の時期です。新生活を送る皆さん、心身ともに健康が大事です。

平成28年の五稜会病院

平成28年1月、新年交礼会において、理事長講演「平成28年の五稜会病院～精神科病院は変わります～」を、平成27年11月に完成した多目的ホールで行いました。多目的ホールはミニ体育館としてフットサル、バスケット、バドミントンなどの運動が出来る他、講演会・研究会の開催も可能となっています。

平成28年も前年と同様、「人に優しい精神科医療」を目標に患者さんのニーズに応えるべく精神科医療の充実に望んでいくつもりです。平成27年10月から開始された、さっぽろ子どもの心の診療ネットワーク事業であるコンシェルジュ事業も軌道に乗っています。今後とも、広く情報開示をして、透明性のある病院創りをしていきたいと考えております。五稜会病院の医療に対して、お気づきの点があれば何なりとご意見を頂戴したいと思います。

医療法人社団五稜会病院理事長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

- 1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
- 2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切に医療を行う。
- 3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
- 4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会・研究発表

当院の研究発表については病院のホームページにも掲載しておりますのでご覧下さい。私たちは最新の医療を提供出来るように、日々努力しております。平成27年度も様々な学会・研究会に参加しました。当院の開かれた医療の実践報告をしています。

- 第41回札幌市医師会医学会 平成28年2月21日
「民間の単科精神科病院での禁煙外来と喫煙対策の実践」
中島公博
- 第41回日本心身医学会北海道例会 平成28年2月28日
「健康不安改善を目的とした心気症患者の一症例」
田村智恵

- 平成28年3月1日
みんなねっとフォーラム2015“親あるうち”の自立をめざして(東京)
「英国リテン版訪問家族支援」の現場から 吉野賀寿美
- 平成28年3月5日
第1回全国精神保健福祉フォーラム(チクラフォーラム)(東京)
平成27年度5番事業「意思決定支援、意思表明支援モデル事業の概要」
中島公博

- ★院内症例検討会 平成28年2月18日
「自死症例検討」グループディスカッション
「病院内の自殺事故予防と事後対応、スタッフ・ケア」
札幌医科大学神経精神科 河西千秋教授

河西千秋先生からは、自殺予防対策と事後の対応をどうしたらよいか、スタッフへのケアについて大変ご示唆にとんだご講演を頂戴致しました。自殺対策は国を挙げての事業でもあります。特に精神科病院としては、うつ病の患者さんや希死念慮を抱いている患者さんを診療の対象にしていますので、当院として出来る限りの対応をしていくつもりです。

五稜会病院では、情報の開示を積極的に進め、医療内容の透明化を図っており、当院での実践内容については、院外での学会・研究会でも発表しています。その際には、患者さんの個人情報保護の対応規定に従っています。病院理念の一つである「臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める」を実践するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

- 1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
- 2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
- 3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
- 4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
- 6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
- 7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

医療のトピックス

診療報酬改定（平成28年4月）

診療報酬は、中央社会保険医療協議会の答申により決定されます(健康保険法第82条)。改定は原則として2年に一度行われ、今回、平成28年4月に改訂されます。精神科領域では、「地域移行・地域生活支援の充実を含めた質の高い精神医療の評価について」という項目でまとめられ、「地域移行を重点的に進める精神病棟の評価」「重症精神疾患患者に対する集中的な支援の推進」「長期にわたる頻回の精神科デイ・ケア等の適正化」「身体合併症を有する精神疾患患者の受入れ体制の確保」「自殺企図後の患者に対する継続的な指導の評価」「向精神薬の適切な処方への推進」「専門的な児童・思春期精神科外来医療の評価」などがあります。**特に関係ありものとして、安定剤、睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬の多剤併用が戒められています。**

最近の精神科医療政策のご紹介

これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会 厚生労働省

平成28年1月から、厚生労働省で開催されている検討会です。改正精神保健福祉法の附則において、同法の施行後3年(平成29年4月)を目途として、医療保護入院の手続の在り方等について検討を加え、所要の措置を講ずるものとされています。この検討会では、当該規定を踏まえた検討を行いことに加えて、平成26年7月に取りまとめられた「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性」を踏まえた精神科医療の在り方の更なる検討を行う場となります。検討される内容は以下です。

- ①医療保護入院等のあり方分科会
 - ・医療保護入院における移送及び入院の手続等の在り方
 - ・医療保護入院者の退院を促進するための措置の在り方
 - ・入院中の処遇、退院等に関する精神障害者の意思決定及び意思の表明の支援の在り方
- ②新たな地域精神保健医療体制のあり方分科会
 - ・精神病床のさらなる機能分化
 - ・精神障害者を地域で支える医療の在り方
 - ・精神疾患に係る医療体制の在り方

特に、①の医療保護入院のあり方については、当院理事長中島公博が、平成26年度総合福祉推進事業「精神保健福祉法改正後の医療保護入院の実態に関する全国調査」を日本精神科病院協会で担当した関係から、第2回の検討会(平成28年2月25日)では、日精協の立場から医療保護入院の手続き等の改善点について意見を述べています。

**当院は患者さん本位の医療を提供しようと
考えております。
お気づきの点をご相談下さい。**

治験のご協力をお願い

現在、当院では「うつ病」、「統合失調症」、「アルコール依存症」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬(薬を創りだす)は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。

難治性うつ病

色々な抗うつ剤を使用してもなかなかうつ状態が改善しないこともあります。当院では一般的な抗うつ剤でも効果不十分なうつ病の患者さんへの治験を実施中です。

統合失調症

典型的な症状は幻聴と妄想です。最近では主治医から病名の告知もなされています。かつてのような不治の病ではありません。適切な薬物療法が必須です。

五稜会病院 概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

病床数	193床		
急性期病棟	48床		
ストレスケア・思春期病棟	48床		
療養病棟A	49床		
療養病棟B	48床		
従業員数	約200名		
医師数	常勤 7名	非常勤 8名	
看護師	84名		
薬剤師	2.5名		
臨床検査技師	2名	非常勤 2名	
臨床心理士	8名	非常勤 4名	
作業療法士	9名	音楽療法士 1名	
精神保健福祉士	10名		

五稜会病院沿革

開設	昭和47年
医療法人開設	平成2年

編集後記

平成28年も2月を過ぎました。例年2月までは新年のはじまりという感じですが、3月が過ぎると加速度的に1年がたっしてしまいます。1日1日を大事に、まずは、心身の健康から日々を過ごしていきたいと思えます。

発行：平成28年2月25日

〒002-8029

札幌市北区篠路9条6丁目2-3



発行責任者：広報委員 藪内裕介・菅原智子

電話：011-771-5660

http://www.goryokai.com

mail: GMC@goryokai.com

寝るのが一番です

現在、日本人の5人にひとりには睡眠に問題を抱え、日中の過剰な眠気や不眠などを訴えて、社会生活に支障をきたしています。睡眠不足は集中力や判断力の低下からミスや事故を招き、生活習慣病や心疾患のリスクを上げ、うつ病発症の危険因子であるともいわれています。PSGやMSLTなどの睡眠検査で、睡眠の質や量、日中の眠気の程度を客観的に測定し、症状の原因を明らかにし、早期対応することは大切です。

睡眠検査

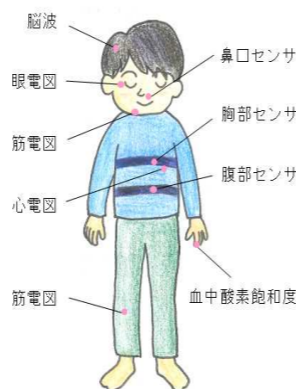
当院では、以下の睡眠検査を行っています。（一泊入院）

★PSG（終夜睡眠ポリグラフィ）

PSGは、睡眠時に多種類の生理現象（脳波、筋電図、呼吸など）を同一時間軸上に記録し、睡眠の深度と生体現象との関連性を評価します。

★MSLT（反復睡眠潜時試験）

MSLTは、脳波、あごの筋電図、眼球運動を日中2時間ごとに4回測定し、入眠までの時間などから日中の眠気の程度を評価します。



PSGのセンサー

睡眠検査の流れ

《初回受診》 新患の方はご予約ください。

医師が問診後、必要な方にPSGとMSLTの依頼を出します。臨床検査技師が、検査の説明と日程調整を行います。

【検査1日目】

- 16:00 入院
- 18:00 夕食
- 18:30 PSG電極装着開始
- 19:00 PSG記録スタート
- 22:00 消灯

【検査2日目】

- 7:00 PSG終了、シャワー
- 8:00 朝食
- 9:30 MSLT1回目
- 11:30 MSLT2回目
- 12:00 昼食
- 13:30 MSLT3回目
- 15:30 MSLT4回目
- 16:00 会計、退院



脳波計と脳波・PSG解析プログラムをH28年3月に更新しました。

《結果説明》 検査から1週間後以降に受診

医師より結果の説明があります。

疾患が確定診断されましたら、適切な治療を開始します。

生活習慣に原因が考えられる場合には、生活習慣改善のアドバイスを行います。疾患により専門の医療機関をご紹介しますこともあります。

料金

PSG、MSLT検査料、入院費の合計は、3割負担で約3万円です。その他に個室料（3千円）、血液検査（約3千円）が加算される場合があります。

日中の眠気、不眠の訴えには、さまざまな原因があります。また、「眠気」を「だるさ」「疲れ」などで表すこともあり、特に20歳未満ではこの傾向が強く、実はナルコレプシーなどの疾患が潜んでいることもあります。睡眠検査で適切な診断をされ、適切に治療を受けることで、QOLの向上やうつ病、生活習慣病の予防につながります。

睡眠状態を客観的に把握することができる睡眠検査は健康を守るためにも重要な役目を担っています。

（臨床検査技師小田）

睡眠検査で診断される主な疾患

- 睡眠時無呼吸症候群
- レム睡眠行動障害
- 睡眠時随伴症
- 周期性四肢運動障害
- ナルコレプシー
- 睡眠時関連てんかん など

デイケア祭を開催します。

五稜会病院の2期工事も終わり、デイケアホール棟も完成しました。そして今年、デイケアで大きなお祭り「デイケア祭」を開催します。そこで実行委員である利用者の方3名にインタビューを行いました！

- この度、デイケア祭を開催するという事なのですが、こういったものになるのでしょうか？「デイケアを知ってもらおう！」がテーマとなっていて、デイケア（コラボ、ミニ、リワーク）の紹介を色々な形で行っていきこうとしています。
- デイケア祭の内容を差支えない程度で良いので教えてください。デイケアで作成した作品の販売と展示、または実際のプログラムを体験してもらおうと思っています。あとは飲食物の販売もあります。他にも新しくできた多目的ホールを使ったレクリエーションやスライドショーもできたらと準備中です。
- 実行委員になり、企画、準備をしていることでの「やりがい」についてお聞かせください。準備はとて大変です。でもスタッフや他のメンバーなどが支えてくれています。それが嬉しいです。
- 最後にソテリア読者のみなさんにお伝えしたい事はありますか？デイケアを知ってもらうのに、来てもらうことが第一の目的ですので、皆さんには是非参加して欲しいです。待ってます！



実行委員の方々は大変な準備の中、お時間を取っていただきありがとうございました。デイケア祭は、2016年4月22日の10:30~14:00の予定です。楽しそうな内容が目白押しです。みなさん、是非デイケア祭に足をお運びください。よろしくお願いいたします。（広報委員 藪内）



フットサル
やっています。



昨年12月に多目的ホールが完成し、様々な活動ができるようになりました。そこで今回はスポーツプログラムの中から、フットサルについてご紹介します。

フットサルは1チーム5人で行い、女性や子どもにも人気のスポーツです。当院でもエンジョイ（誰もが楽しめる）志向で、毎週金曜日にデイケアプログラムで練習をしています。未経験の方には難しいスポーツだと思われやすいですが…安心してください、楽しめますよ！サッカーと違ってボールが小さく弾みにくいため、コントロールしやすいことや、何度でも交代できるというルールがあり、未経験者でも参加しやすい特徴があります。また、場所や大会によってルールや試合時間は様々で、自分に合ったものを見つけやすいのです！

そんなフットサル活動はデイケアのプログラムだけではなく、チームでの活動を開始しようと思っています。チーム練習だけではなく、他院との練習試合、または大会への出場も目指していきたいと考えています。現在メンバー募集中です！興味がある方は、デイケアスタッフまでお問い合わせください。（デイケア 清水）



一緒にやろう！

